

2009年室内環境学会第3回役員会議事要旨

日時：平成21年7月10日（金）13時～15時
場所：（株）アイデック事務所内5階会議室
出席者：小野、池田、中井、川上、篠原、樺田、
柳沢（委任出席）、野崎（代理：橋本）、
東
事務局：中島、松村、色摩
欠席者：柳

議事次第

1) 「室内環境学概論」の準備状況について

川上出版委員長より、WGでの議論について報告があった。目次案と共に現段階で挙げられている検討課題と日程の提示があり、次回7/31の第2回WGで詳細の詰めを行なうこと、執筆要領を作成する旨説明があった。また、役員からも意見があれば提案いただくこととなった。なお、会員外の方に執筆を依頼する場合に謝金を出せないかとの意見があり、次回WGで検討し、必要に応じて役員会に申請してもらうこととした。

2) H21年度総会の準備状況について

東大会長より、実行委員が紹介されると共に準備の進捗状況について説明があった。総会案内第2報及びポスターをHPに掲載し、演題受付が開始された旨報告があった。またJST等の各種学会カレンダーへ掲載された旨報告された。共催、後援については10学会に依頼をし、既に7学会から承認された他、NPO法人1件からも承認を受けているとのことであった。今後、大阪府、大阪市及び東大阪市にも呼び掛ける予定。協賛団体の会員については、参加費を会員扱いとする旨案内している旨報告があった。12月13日に開催する市民講座については現在講演者の選定を行なっている段階と報告された。

関西支部設立に関しては、議論を継続してゆくと報告があり、地域を可能な範囲で広く検討するよう意見が出された。

3) 会費の納入状況と会員資格停止者の処理について

事務局より6月末までの会費納入状況が報告された。2年以上の会費滞納者のうち、通告にも関わらず会費の納入がなかった法人会員4社、正会員37名、学生会員12名については、室内環境学会会則第5条2(2)に基づき、会員資格停止処理がなされ、会員数が532名となった旨報告があった。併せて会誌の印刷部数を次回より700部とすることとした。会員数は減少傾向にあるため、学会案

内のパンフレットを作成するなど、対策を検討する必要が指摘された。

4) 委員会報告及び委員会メンバーの確認について

はじめに事務局より、今年度の委員会、支部及び分科会の委員名簿が配布され、各代表者に確認の依頼があった。続いて各委員会の活動報告がなされた。

出版委員会：川上出版委員長より、12巻1号が無事発行されたとの報告があった。続いて2号掲載に向けた論文等の投稿・査読状況が報告された。また、各委員会等に対して活動状況紹介の執筆依頼があった。会長より、オンラインのISSN No.取得について調査するよう依頼があった。

事業委員会：（柳委員長欠席）報告書により、表彰制度、大会長賞ポスター賞審査内規の改定、室内環境学概論の契約方式が審議事項として挙げられた。会長から総会に向けて引き続き議論をお願いする旨発言があった。

広報委員会：篠原委員長より、翌々週に委員会を開催予定のため、これを受けてメール等で報告する旨説明があった。

学術委員会：中井委員長より、学術委員会と分科会の予算の仕分けについて提案があった。学術委員会の下部組織である分科会の予算が独立している現状を、大括りで予算化し、内部での重点化が可能になるよう検討してほしい旨提案があった。総会時に分科会が主体となって開催するシンポジウムに、ある程度の予算が必要である等の問題が発生しており、学術委員会内・分科会内で自由度を持って予算執行できることの利便性が指摘され、理解を得た。

社会連携委員会：会則改正に伴う委員会再編の経緯について確認があり、社会連携委員会における活動範囲について議論された。国際連携に関する活動を中心に活動する方向性が示され、委員の人选を早急に行うこととした。

5) H21年度予算について（別紙資料あり）

H20年度決算が確定したことに基づき、小野会長よりH21年度案が提案された。特に出席が義務付けられている役員会については、一部旅費を負担できるよう予算化したいと説明があり、承認され

た。支払い方法等の運用については事務局で検討することとした。また、承認された予算に基づき、各委員会宛に予算を振込むこととした。また、活動費以外での予算が必要な委員会等については、別途役員会に申請することとした。

6) ホームページのチェックと更新について

ホームページのチェックについては、広報委員会だけでなく、役員やモニター等を含めたメンバーで行なってはどうかとの提案があり、広報委員会で議論していただくこととした。なおこれと関連し、メーリングリストを利用した情報交換システムや、ネットバンキングを利用した会費納入方法等についても調査することとした。

7) H22 年度及び H23 年度総会について

H22 年度総会については、次回役員会で会長から提案したいとの発言があった。また、H23 年度総会は地方開催の予定のため、開催可能性の打診を開始することとした。

7) その他

・次回役員会は、9 月 24 日以降、10 月上旬程度を予定し、後日日程調整することとした。

以 上

平成21年度室内環境学会予算

歳入				
適用	内訳	単価	数	決算
前年繰越金				¥1,281,140
年会費(H20年同数)				
	一般	¥5,000	406	¥2,030,000
	賛助	¥30,000	55	¥1,650,000
	学生	¥1,000	36	¥36,000
雑収入	学会誌販売、他			¥50,000
シンポジウム				
総会・研究発表会				¥500,000
広告収入	学会誌			¥100,000
	ホームページ			¥100,000
計				¥5,747,140
歳出				
適用	内訳	単価	数	予算
委員会活動費	出版委員会(印刷費)	¥650,000	2	¥1,300,000
		¥935,000	1	¥935,000
	出版委員会			¥100,000
	学術委員会			¥100,000
	標準化委員会			¥100,000
	広報委員会			¥100,000
	社会連携委員会			¥100,000
	事業委員会			¥100,000
支部活動費	九州支部			¥100,000
	東北支部			¥100,000
分科会活動補助	化学物質分科会			¥50,000
	微生物分科会			¥50,000
	燃焼機器分科会			¥50,000
総会・研究発表会	支度金			¥500,000
事務費、通信費				¥1,280,000
役員会旅費(2回まで)				¥100,000
次年度繰越金				¥682,140
計				¥5,747,140